

平成29年度 芸術文化魅力育成プロジェクト業務委託 補足説明

質問	回答
【実施体制】	
若手プロデューサーと、鑑賞プログラムの関連性について	各鑑賞プログラムは、若手プロデューサーが担当し、企画立案・事業実施・自己評価を行ってください。 なお、複数の若手プロデューサーが共同で1つのプログラムを担当することや、1人の若手プロデューサーが複数のプログラムを担当することは可能です。
【鑑賞プログラム】	
実施期間における曜日や日数の制限について	曜日や日数に制限はありません。
【育成プログラム】	
鑑賞プログラムとの連携方法について	鑑賞プログラムと育成プログラムについては、相互の各プログラムでの事業連携や、鑑賞プログラムを担当する若手プロデューサーの育成プログラムへの参画など、相互に連携し、一体のものとして企画運営することを前提にご提案ください。
【広報戦略】	
公式HPを作成する場合の、ドメイン取得やサーバ使用料について	公式HPを作成する場合、ドメイン取得とサーバ使用料については、実行委員会が負担することを予定しています。 それ以外の必要経費(管理運営費等)については、事業者負担となりますので、積算し、「様式3 収支計画書」に計上してください。